



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

Tel 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

持ち味を生かす

校長 大谷 珠美

新年度がスタートして一か月がたちました。子どもたちは元気に学校生活をスタートしています。

4月21日には授業参観、懇談会へのご出席ありがとうございました。1年生はこれから授業参観となります。1年生は、新しい環境や集団での活動になり、まだまだ、大きな集団に戸惑っている児童もいますが、少しずつ学校生活に慣れてきたように感じます。

さて、各学級や学年では、今年度の学年目標や学級目標、自分の1年間の目標を決めてどのように取り組んでいくかを考えているところです。学級の廊下の掲示物を見ると、自己紹介カードなどが掲示されていて、「ここが自分のいいところ」「好きなものは○○」「趣味は○○」など、自分のことをアピールする文が自信をもって書かれています。自分が自分自身のことを知るといことはとても大切なことで、誰しも得意な分野と苦手な分野があり、そのすべてが自分自身だと受け止めることができると、「ありのままの自分でいい」と思うことができると思っています。それは、子どもだけでなく大人も同じだと思うのです。ありのままの自分を尊び、大切に思うこと。いつどんな状態の自分も、かけがえのない唯一無二の存在価値であること。「自己を尊重」できないと「他者を尊重」できず、攻撃や暴力が起きてきます。これは、先日横浜市の人権教育協議会の中で講演を行った北村年子先生がお話しされたことですが、「自尊感情」が低い（自己受容・自己尊重ができていない）状態の時は、否定的な思考になり「暴力」が生まれる（否定、攻撃、差別、無関心という暴力も）。その攻撃の先には、他者へのいじめや虐待、DV、弱者攻撃、LINE・SNSなどでのバッシング等につながる可能性もあります。そしてまた、自分へもその攻撃が向けられます。自傷行為、無気力、自滅的行為などです。

私たちは自分を人と比較して、「自分はなんてできないんだろう。」と、落ち込むことがあります。でも、誰が何と言おうと、自分は価値ある存在です。自分はこの世に一つのかげがえのない命、特別で大切な存在です。「自分は自分で大丈夫。あなたはあなたで大丈夫。今この自分で大丈夫。他者と比べて、『できるか、できないか』『上か、下か』『勝っているか、負けているか』『うまいか、下手か』などに価値を置かなくてもいい。『どんな自分も好き』という自己肯定感をもって生きていけたら、今よりもっと、幸せな自分になれる。」この北村先生のお話を私がお聞きするのは、3回目なのですが、お話を聞かたびに、「よし、ありのままの自分を大切にしよう。自分の家族も他と比べることはやめよう。」と思います。時がたって今までの自分を振り返ると、反省することばかりです。

学校では、自分の良さや友達の良さをみつける「いいとこさがし」や自分が言われてうれしかった「ぼかぼかことばあつめ」などをすることがあります。そこでは、自分が気付かなかった自分の一面を友達が見つけてくれたり、自分では当たり前だと思ってやっていたことが、他の人から見たら素敵な行為だったりして、新たな自分に出会うことがあります。それはもしかしたら、今まで自分が気付かなかった自分の持ち味かもしれません。私たち一人ひとりには、それぞれにかけがえのない持ち味があるでしょう。良いところも嫌なところもすべて自分なんだと受け入れて、これからいろいろなことにチャレンジして行ってほしいと思います。そして、チャレンジしている子どもたちを温かい目で見守り、育てていける学校でありたいと考えています。